

医療法人社団 英明会 大西脳神経外科病院



O's News

2024
10

正常圧水頭症 — 高齢者の治る認知症や歩行障害を見逃さない

脳腫瘍・頭蓋底外科センター長 高橋 賢吉

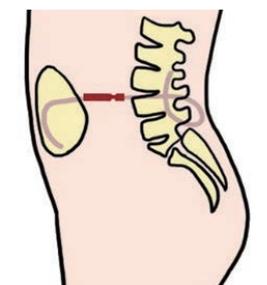
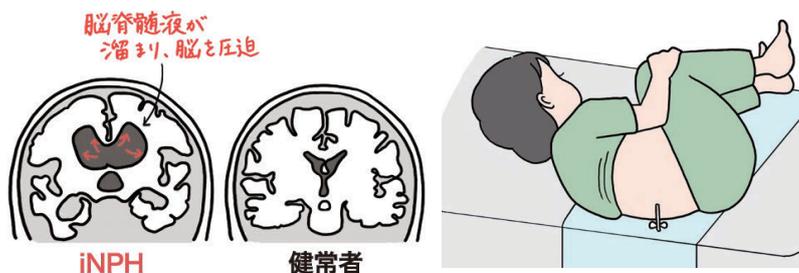
急速な高齢化に伴い認知症や歩行障害が増えています。その原因疾患の中でも手術で治せる正常圧水頭症についてご紹介させていただきます。

正常圧水頭症は、脳の中(脳室)に脳脊髄液が過剰に貯留して、まわりの脳を圧迫することで発症する病気です。高齢者に多く、数カ月単位で進行性に悪化します。好発年齢は70～85歳で、小股すり足歩行・認知機能低下・尿失禁の3つの症状が特徴ですが、いずれも老化現象として見逃されることが多いです。正常圧水頭症は稀な疾患ではなく、高齢者の2～9%に認められ、その90%以上が見逃されていると推定されています。

症状がありCTやMRIで脳室の拡大を認めて正常圧水頭症が疑われれば、腰椎穿刺によるタップテスト(髄液排出試験)を5日程度の入院で行います。過剰な髄液を排出することで症状の改善が得られるようであれば、手術を考慮します。



iNPH.jpより



LPシャント
腰椎-腹腔シャント

手術は脳室もしくは脊髄腔とお腹(腹腔)をチューブでつなげることにより、過剰な髄液がお腹に流れるようにします。一般的な脳室腹腔シャント術では頭蓋骨を穿頭して脳を穿刺する必要がありました。当院では腰椎腹腔シャント術を行っており、背中と腹部の小切開のみで手術時間も40-50分と短く低侵襲であり、年齢制限もございません。手術は全身麻酔下に行い、10日前後の入院が可能です。

正常圧水頭症は進行性の病気です。早期治療により症状はほぼ消失しますが、進行してからの治療では症状の改善が得られにくいいため、早期発見・早期治療が重要です。

半年ほどの経過で転倒を繰り返し、認知機能が低下して、頻尿や失禁で困るようになった方がおられましたら、診断は問診と頭部CT検査で比較的簡単に行えますので早めに外来を受診して下さい。

構音障害という言語障害について

言語聴覚士 界 紀香

「構音障害」という言葉を聞いたことがありますか？
“呂律が回らない”という言葉で表現されることが多く、
脳血管障害の初期症状の1つです（運動障害性構音障害）。
この原因は唇や舌の動きに問題が生じることにあります。
これにより呂律が回らないということだけでなく、
食物が口の中に残りやすい、飲み物が口角から出てくる
など、食事の際の困りごととして挙げられることもあります。
また、唇や舌の動きだけでなく、呼吸に関連する筋肉
や声帯に問題が生じた場合は、話している時に息苦しく
なる、声質がかすれる・ガラガラするなどの症状がみられ
ることがあります。

当院ではこのような話すことや食べることに
関する困りごとに対して、治療やアドバイスを
行っています。疑問・ご質問がございましたら、
当院スタッフまでお声掛けください。



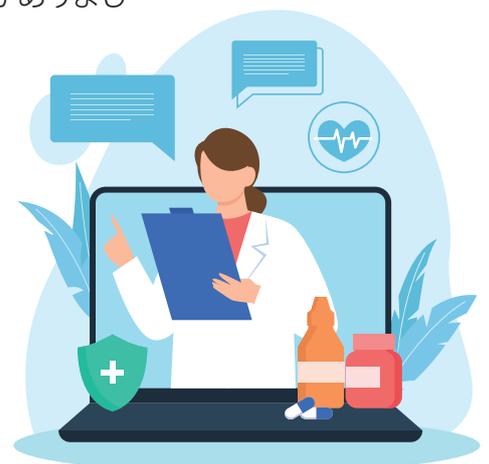
医療安全

医療安全管理室 看護師長 原 麻夕美

医療安全部では、医師、薬剤師、看護師、検査技師、事務など多職種のメンバーと一緒に、患者さんが安全な医療を受けられる組織を作ることが目的に活動しています。

また、患者相談窓口の職員とも連携しています。何かお気づきのことがありましたら、患者相談窓口やご意見箱を通じて、ぜひ、お声をお寄せください。皆様のお声を聞きながら一緒により良い医療を作っていきたくないと考えております。

医療安全管理室では、患者さんにご家族はもちろん、面会の方々と職員を含めた院内全ての方の安全を守るために、「ヒヤッとした、ハッとした」ことについて職員からレポートを提出してもらっています。そのレポートの内容について発生状況、発生要因などを職員間で共有し、今後同じようなことが起こらないための対策を講じています。



10月 (神無月)

かなづき

日本各地の神様達が出雲大社へ集まります。出雲大社・神楽殿のしめ縄は、長さ13.6m、重さ5.2tで、日本最大級、5～6年に一度、交換されます。



10/3～7(四十八候) 水始涸 / みずはじめてかれる

豊かに実った稲を刈る為に、水田の水を抜き備える時季。10月2日(一日戻りますが)は、「とうふ」と呼び、「豆腐の日」。二千年程前の中国で発明されました。ちなみに「腐」という文字には、「やわらかくてプニプニしている」という意味があるそうで、日本では「豆富」という表記も～。



10/8～12(四十九候) 鴻雁来 / こうがんきたる

冬鳥の雁が渡ってくる頃、この頃の北風を「雁渡し」と呼びました。日本の秋を彩る、「葉鶏頭(はげいとう)」。雁が渡ってくる頃色づくことから、「雁来紅(がんらいこう)」とも呼ばれます。「鶏頭や雁の来る時あかし」一松尾芭蕉



実り豊かな秋。秋風も心地良く、深呼吸。

10/13～17(五十候) 菊花開 / きくのはなひらく

華やかな菊の大輪は江戸っ子好みでした♪日本で誕生した「和菊」。「大菊」=直径20cm程、菊花展などで見る「厚物」といわれる大輪、「中菊」=直径9～18cm「古典菊」と呼ばれ、様々な種類がある、「小菊」=直径7cm前後に大きく分類。現代は、洋菊=マム、とも呼ばれる品種も加わり、楽しみ方も広がりました。



10/18～22(五十一候) 蟋蟀在戸 / きりぎりすとにあり

野で鳴いていた虫も、秋の深まりと共に人家に近づいてくる～そんな季節。「バター・ペア(とろける梨)」とも言われる美味しい洋梨ラ・フランス♪山形県が8割を生産しています。栽培の難しいラ・フランスは、原産地フランスでは、1900年代初めになんと絶滅。世界で唯一の生産国が、日本であることに驚きですね。



10/23～27(五十二候) 霜始降 / しもはじめてふる

温暖化の影響で、霜を目にすることも少なくなりました。秋の空は、低気圧と高気圧が交差して、お天気が変わりやすい時季。これを「女心と秋の空」と呼びますが、実は江戸時代の「男心と秋の空」が元々のことわざ～。時代の流れにより変化してきたことわざです。(^^)

日暮れも早まり、木々の葉も鮮やかに色づいてきます。

10/28～11/1(五十三候) 雲時施 / こさめときどきふる

鮭が産まれた川へ戻り、遡上する秋、神秘的な風物詩ですね。日本で一般的に「鮭」は「白鮭」と呼ばれる種類で、秋に獲れる鮭があつ「秋鮭」。ちなみに5～8月に獲れる白鮭を「時鮭(ときしらず)」=「時期を間違えて帰ってきた」と呼びます。脂ノリのよい「時鮭」とさっぱりとした味わいの「秋鮭」。



その3 きゅうり物語

サラダにお漬物など私達の食卓に欠かせないきゅうり。今回は「ブルーム」のお話。以前は店頭に白い粉=ブルームのついたきゅうりが主流でしたが、白い粉=農薬?と勘違いした消費者により、現在はツルツルの「ブルームレス(なし)きゅうり」が主流に～。「ブルームきゅうり」はブルームでコーティングして、水分蒸発を防ぎ、病原菌の感染を予防。「ブルームレスきゅうり」にくらべて、皮も薄く香りもあり、食感もよく、ヌカ床に入ると味もしみ込みやすく美味しい♪最近のきゅうりは皮は硬いし、香りもちょっと…。と感じている方も多かったのでは。「ブルームきゅうり」の代表品種は、「イボきゅうり」と言われる「四葉(すうよう)」きゅうりです♡ つづく



外来担当医表

(血)血管内治療 (顔)顔面の痛み・けいれん (FUS)集束超音波治療

		月	火	水	木	金
1診 【予約制】	午前	高橋(顔)	大西(宏)	久我	茶谷	三好
	午後	高橋(血)	大西(宏)(血)	久我	茶谷	三好
2診 【予約制】	午前	前岡	岡本	角田	富士井	担当医(血)
	午後	前岡	岡本	角田	祖父江	脊椎・脊髄外来 山本
3診 5診	午前	5診 吉村	担当医	担当医	3診 佐藤	5診 酒井
	午後	5診 吉村	担当医	担当医	3診 佐藤	担当医
6診 【予約制】	午前	—	—	—	—	—
	午後	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本	平林	麻酔科 鈴木
7診 【予約制】	午前	脳神経内科 樹下	—	脳神経内科 赤谷	てんかん 第4週 田村	脳神経内科 第1・3週 阿部 第2・4・5週 小坂田
	午後	脳神経内科 樹下	—	—	てんかん 第4週 田村	脳神経内科 第1・3週 阿部 第2・4・5週 小坂田(FUS)

※診察受付時間:月~金 <午前>8:30~11:30 <午後>13:30~16:30 ※毎週金曜日13:00~ 6診 麻酔科 鈴木 (2024.10)
※第1・3週金曜日9:30~12:30,13:30~16:30 7診 脳神経内科 阿部

連携協力医療機関のご紹介

No.45

野瀬耳鼻咽喉科

院長:野瀬 道宏

【認定資格・所属学会】日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会専門医

【診療科目】耳鼻咽喉科

【住 所】明石市大久保町駅前1丁目5-11

【電 話】078-934-8733

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:30	○	○	○	/	○	○	/	/
15:30~17:00	○	○	○	/	○	/	/	/

電話にて当日8:30より予約 休診日:木曜、土曜午後、日曜、祝日



野瀬院長からのメッセージ

当院は平成7年の3月に微力ながら大久保地区の耳鼻咽喉科領域の事でお役に立つつもりで開業しました。日頃、中枢神経系の器質的、機能的な評価をして頂き感謝しております。

No.78

カトレアクリニック

副院長:小松 晶子

【認定資格・所属学会】認定内科医、認定内科専門医、消化器病専門医、消化器内視鏡専門医、認定産業医

【診療科目】内科、胃腸科、在宅医療

【住 所】神戸市西区南別府2-15-9

【電 話】078-974-7174

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	○	○	○	○	○	/	/	/
13:00~17:00	往診	往診	往診	往診	往診	/	/	/

休診日:土曜、日曜、祝日



小松副院長からのメッセージ

明石市朝霧の医療法人社団阿部医院のサテライトとして、神戸市西区で午前は内科・胃腸科の外来、午後は在宅患者様の往診をしています。高齢化が進みいろいろな疾患を併せ持つ患者様が多いため、往診には整形外科や呼吸器科などの専門医の先生にも来ていただいています。今後も必要に応じ近隣の医療機関とも連携しつつ、少しでも地域医療に貢献できればと考えています。



〒674-0064 兵庫県明石市大久保町江井島1661-1

TEL:078-938-1238 / FAX:078-938-1236 mail info@onc.akashi.hyogo.jp <https://www.onc.akashi.hyogo.jp/>

地域医療連携室 TEL:078-938-1288 / FAX:078-938-0399

発行・編集責任者:理事長・院長 大西 宏之

